

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 30日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 茨城工場
住所 茨城県土浦市東中貫町 4-1
氏名 茨城・岩槻工場 統括部長 中山 秀樹
電話番号 050-3139-1754

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 茨城工場
事業場の所在地	茨城県土浦市東中貫町 4-1
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	清涼飲料製造業
② 事業の規模	21,979,296 ケース（2024年度 製造実績）
③ 従業員数	162 人（嘱託・契約含、2025年3月現在）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	【別紙1のとおり】

（日本工業規格 A 列 4 番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

【別紙2のとおり】

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 【別紙3のとおり】

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項 【別紙4のとおり】

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 【別紙5のとおり】

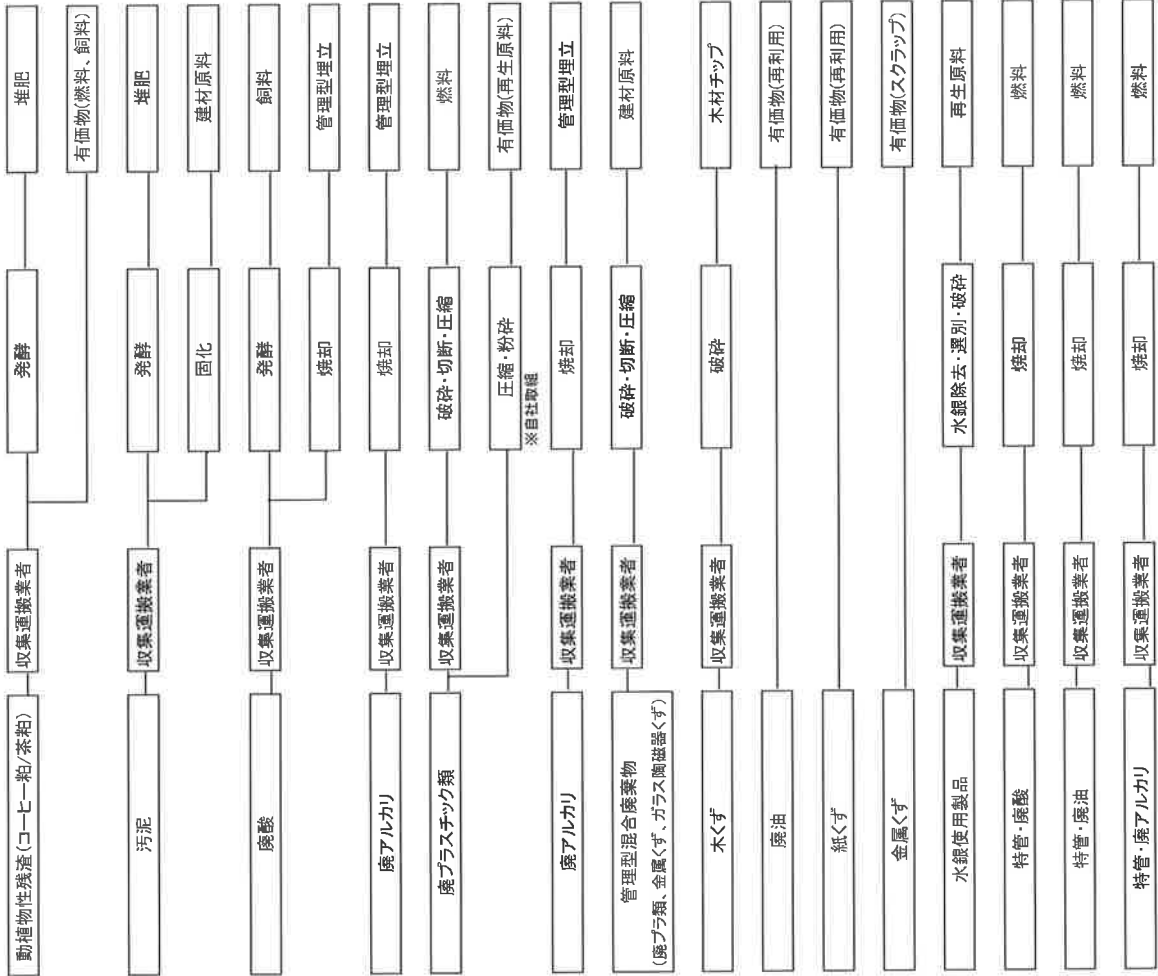
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

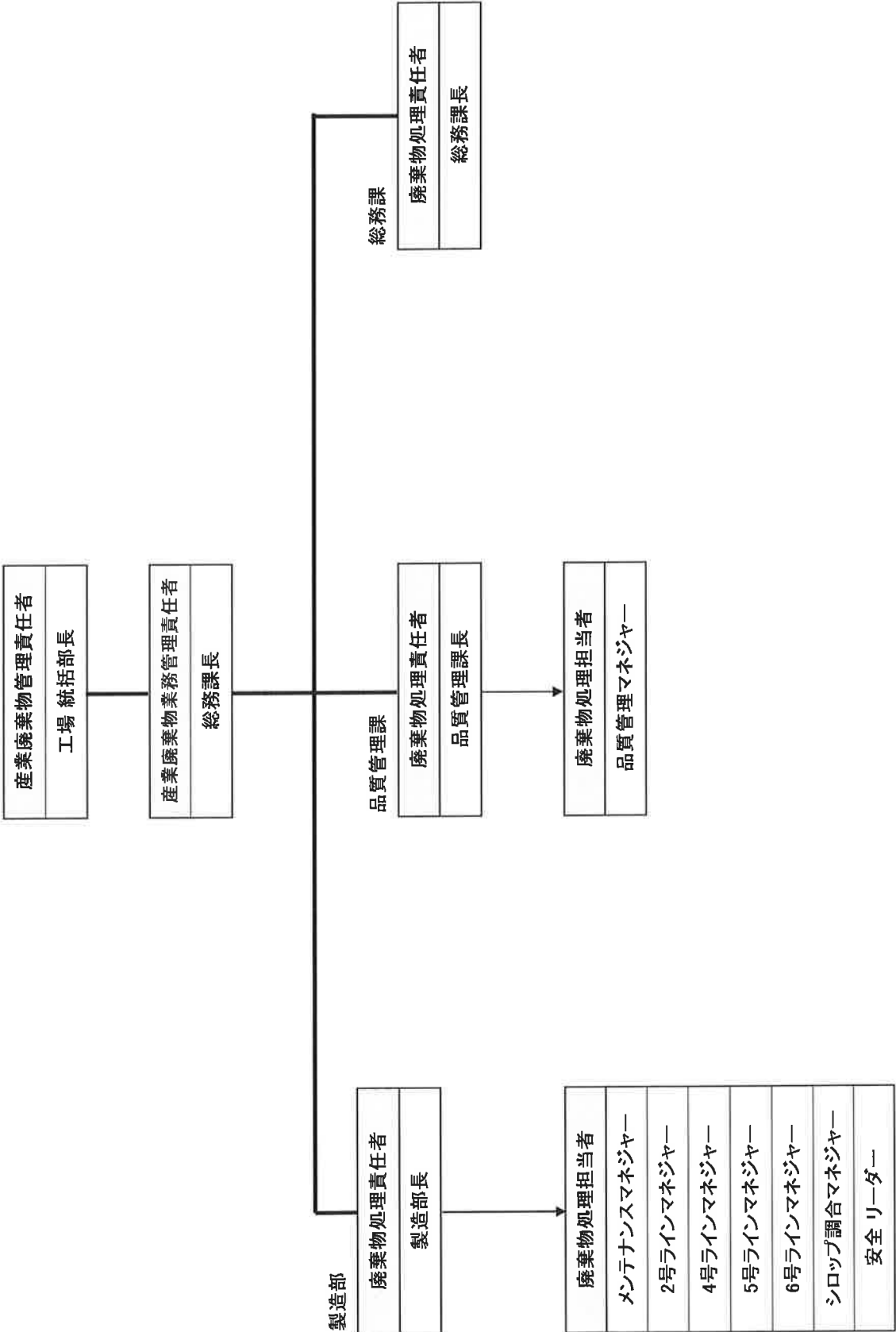
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物処理の管理体制（計12名）

2025.06



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【2024年度実績】		(単位 t)										
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃酸	廃プラスチック類	木くず	管理型混合 廃棄物	廃アルカリ	特管・廃酸	特管・廃油	特管・廃アルカリ	合計
①現状	排出量	3,054	834	224	24	1	19	0.04	0.2	0.26	0.07	4.157
	(これまでに実施した取組) ・不要物の有価物化 (茶粕、薬品容器)	(これまでに実施した取組) ・不要物の有価物化 (茶粕、薬品容器)										

【2025年度 目標】										(単位 t)	
産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃酸	廃プラスチック類	木くず	管理型混合 廃棄物	廃アルカリ	特管・廃酸	特管・廃油	特管・廃アルカリ	合計
②計画	排出量	3,378	922	222	25	1	20	0.04	0.25	0.05	4.569
(今後実施する予定の取組)											
<ul style="list-style-type: none"> ・不要物の有価物化 ・有機溶剤の低減 ・LED化による、従来の高エネルギー量の削減 											

産業廃棄物の分別に関する事項

【2024年度実績】											(単位: t)	
産業廃棄物の種類		動植物性残渣	汚泥	廃酸	廃プラスチック類	木くず	管理用混合廃棄物	廃アルカリ	特管・廃酸	特管・廃油	特管・廃アルカリ	合計
全処理委託量		3,054	834	224	24	1	19	0.04	0.2	0.26	0.07	4.157
優良認定処理業者への処理委託量		611	215	224	24	1	19	0.04	0.2	0.26	0.07	1,095
再生利用業者への処理委託量		2,443	619	0	0	0	0	0	0	0	0	3,062
認定熱回収業者への処理委託量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(これまでに実施した取組)												
・従業員への教育												
・分別表示の掲示												

①現状

【2025年度目標】											(単位 t)	
②計画	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	汚泥	廃酸	廃プラスチック類	木くず	管理型混合廃棄物	廃アルカリ	特管・廃酸	特管・廃油	特管・廃アルカリ	合計
	全処理委託量	3,378	922	222	25	1	20	0.04	0.18	0.25	0.05	4,569
	優良認定処理業者への処理委託量	675	237	222	25	1	20	0.04	0.18	0.25	0.05	1,181
	再生利用業者への処理委託量	2,703	685	0	0	0	0	0	0	0	0	3,388
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組)												
・従業員への教育												
・分別表示の掲示												
・分別置き場のレイアウト変更までの分別の容易さと普請の向上												

【2024年度実績】

(単位 t)

(今後実施する予定の取組)

- ・ 本社の廃棄物センターコントロール化による連携強化。
- ・ 委託業者の視察頻度を上げることでの不正の抑制